

【ローマ人への手紙9章】

「主に信頼する者は、失望させられることがない。」
(ローマ9:33)

この章には、イスラエルの選び、神の怒りと憐れみ、イスラエルと福音について書かれてあります。

イスラエルの民は、神の子としての身分、栄光、契約、律法、礼拝、約束は彼らのものであり、先祖も彼らのもの、キリストも彼らから出るという大きな特権を持っているにもかかわらず、彼らが救いにあずかっていないということで、パウロは深い悲しみと大きな心の痛みがあると言っています。救霊の為に更に痛みをもってとりなしていきましょう。

この選びは、神が憐れむものを憐れみ、人間の願いや努力によってではなく、憐れんでくださる神によることです。神に口答えする民、怒りの器として滅びることになっていた者達を寛大な心で耐え忍ばれ、24節には「神は私達を憐れみの器として、ユダヤ人からだけではなく、異邦人からも召し出してくださいました。」と書かれてあります。

義を追い求めなかった異邦人が信仰によって義を得たのです。そしてイスラエルは義を追い求めていたのに、それに達しなかったのは**信仰によってではなく、行いによって達せられるかのように考えたからです**。彼らはつまずきの石につまずいたのです。

イザヤ書28:16 8:14にあるように、神は「シオンに一つの石を礎として据えられ、これを信じる者はあわてることがない。」とあり、この礎としての一つの石はイエス・キリストの事ですが、ユダヤ人はその据えられた石を信じることなく、つまずいたのです。礎の石つまり土台となるはずの石が、つまずきの石になったのは、**彼らが信じなかったからです**。

私達が主イエスを信じるのが出来るのはなんと大きな恵みでしょうか。信じない者にならないで、彼に信頼する者になって、大いなる希望を受けていきましょう。どんなことがあろうと、どんな状況でも失望させられることはないのですから！神の語られた言葉は確実になってゆきます。

去年、「この戦いは神の戦いである。」と語られて、賛美の働き、インターネット、特に映像の働き、日本の孤児院の働きが始められ、宣教の第2ステージとして、ザンビア、マレーシアに続いてヨルダン・イスラエルチームが派遣されようとしています。へりくだり、どこまでも主に信頼して、聞き従って神の栄光を拝してゆきましょう。み身体の中で、自分の果たすべき役割はなんでしょうか。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師:イエス・キリスト

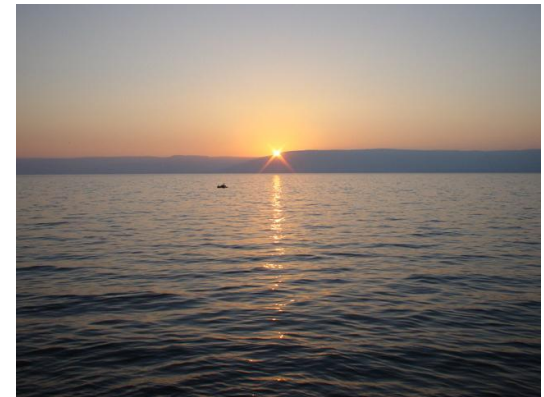
牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2011.10.30 No.655

今年のみ言葉 歴代士Ⅱ 20:14~22 特に15節
「あなたがたはこのおびたしい大軍のゆえに恐れてはならない。
気落ちしてはならない。
この戦いはあなた方の戦いではなく、神の戦いであるから。」



ガリラヤ湖の日の出

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfhr/>

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。